

第2章 津駅周辺の現状

津駅周辺の再整備に向けては、前段で整理したこれまでの歴史や捉えるべき動向を踏まえたうえで、津駅周辺の現状特性及び市民や駅利用者の多様なニーズを的確に捉えたうえで、方針の検討に向けた現状の問題点を整理します。

以下に、後述にて整理する現況整理項目を示します。

表 現況整理の項目一覧

番号	項目	客観的調査	主観的調査
2-1(1)	人口の状況		
	①津市の人口推移 ②津駅周辺の状況(人口・世帯数) ③他市からの通勤・通学者	○	
2-1(2)	土地利用・建物利用の状況		
	①土地利用 ②建物利用	○	
2-1(3)	都市基盤整備の状況		
	①都市計画道路・都市計画公園 ②市街地再開発事業・土地区画整理事業	○	
2-1(4)	施設の立地状況		
	①公共公益施設 ②商業施設 ③観光資源・文化財	○	
2-1(5)	防災に関する状況		
	①津波及び高潮発生時の浸水想定 ②避難場所の指定状況	○	
2-2(1)	駅施設等の配置状況		
	①駅施設の配置状況 ②津駅の東西の移動手段 ③駅案内板の配置状況 ④駅周辺の道路等の状況 ⑤自転車等駐車場の配置状況	○	
2-2(2)	公共交通機関等の利用状況		
	①鉄道の利用状況 ②バスの利用状況 ③路線バスの発着本数 ④タクシーの利用状況 ⑤一般車(自家用車)の利用状況	○	
2-2(3)	駅利用者の利用実態		
	①駅周辺における交通流動 ②駅周辺と大門・丸之内地区における回遊流動 ③駅前広場における歩行者の移動状況 ④津駅の東西間における歩行者の移動状況 ⑤津駅東口における道路空間の使われ方 ⑥津駅西口における送迎利用の状況	○	
2-2(4)	津駅に係る市民ニーズの状況		
	①津地域の満足度評価(市民意識調査) ②津駅全体に関する市民・津駅利用者からの意見募集結果 ③市民・駅利用者の利用実態・津駅周辺に対する意向(利用者アンケート) ④道路空間利活用に関するアイデア(社会実験アンケート) ⑤津駅東口周辺まちづくり懇話会におけるアンケート		●

○客観的調査：データや現地確認に基づく調査(顕在的課題の把握)

●主観的調査：アンケート等に基づく調査(潜在的ニーズの把握)

2-1 津駅周辺をとりまく現状

(1) 人口の状況

① 津市の人口推移

国勢調査において、津市の人口は平成17年の288,538人をピークに減少傾向となり、令和32年には217,792人になるという将来推計となっています。

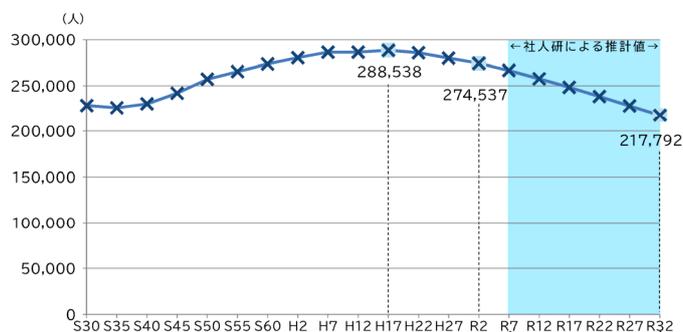
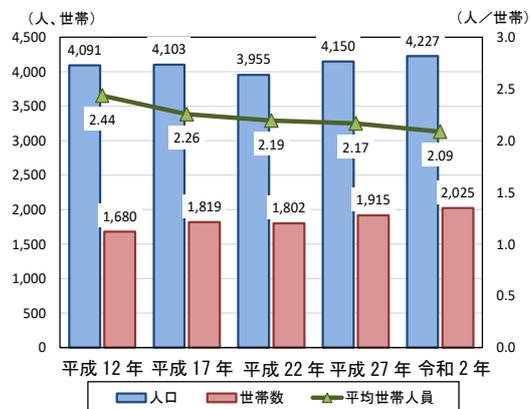


図 総人口の推移 出典:国勢調査

② 津駅周辺の状況 (人口・世帯数)

津駅周辺地区*について、国勢調査による人口、世帯数の推移をみると、概ね増加傾向にあり、令和2年時点では4,227人、2,025世帯となっています。

一方で、平均世帯人員は減少傾向にあり、令和2年時点では、2.09人/世帯となっています。



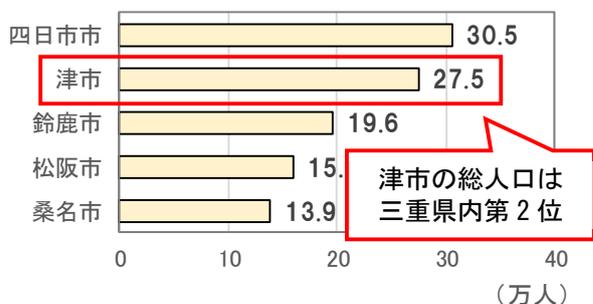
出典:国勢調査

図 人口・世帯数の推移

*津駅周辺地区：栄町2～4丁目、羽所町、広明町、桜橋2丁目、上浜町1丁目のエリア

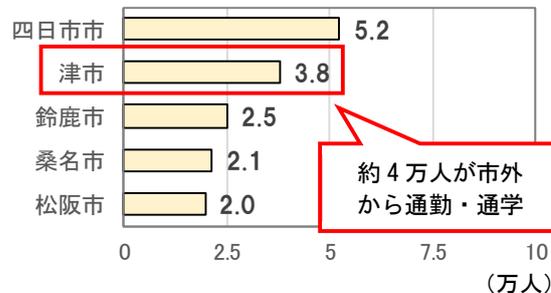
③ 他市からの通勤・通学者

令和2年国勢調査より、津市の総人口は274,537人であり、三重県内第2位となっています。また、他市区町村からの通勤・通学者は約4万人であり、同様に三重県内第2位となっています。



出典:令和2年国勢調査

図 総人口



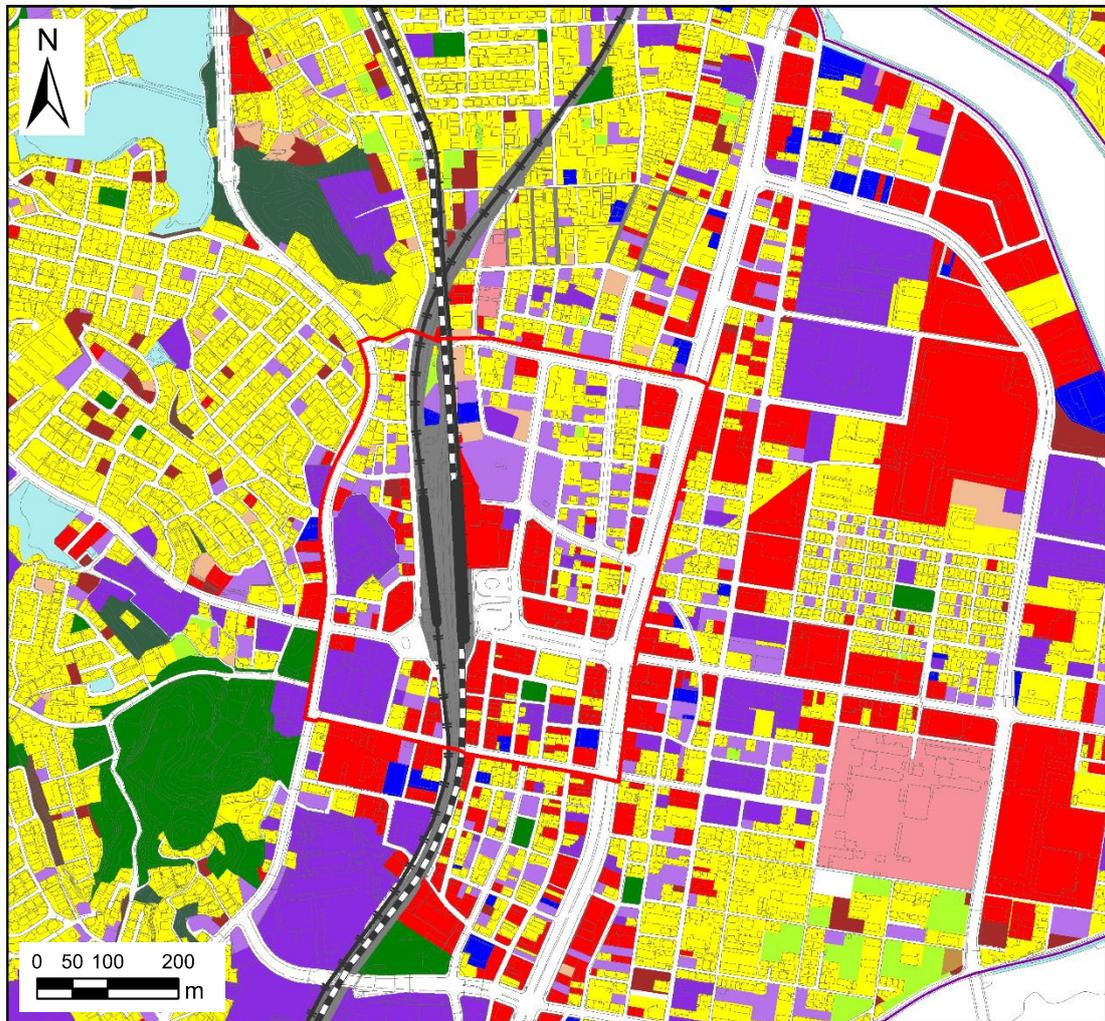
出典:令和2年国勢調査

図 他市区町村からの通勤・通学者数

(2) 土地利用・建物利用の状況

① 土地利用

対象範囲内の土地利用は、面積ベースで道路が33.9%を占め、次いで商業系が16.5%、住居系が14.8%を占めています。また、鉄道が11.3%、公共施設と公益施設の用地をあわせた公共公益施設用地が9.7%を占めています。



出典：都市計画基礎調査(平成30年)

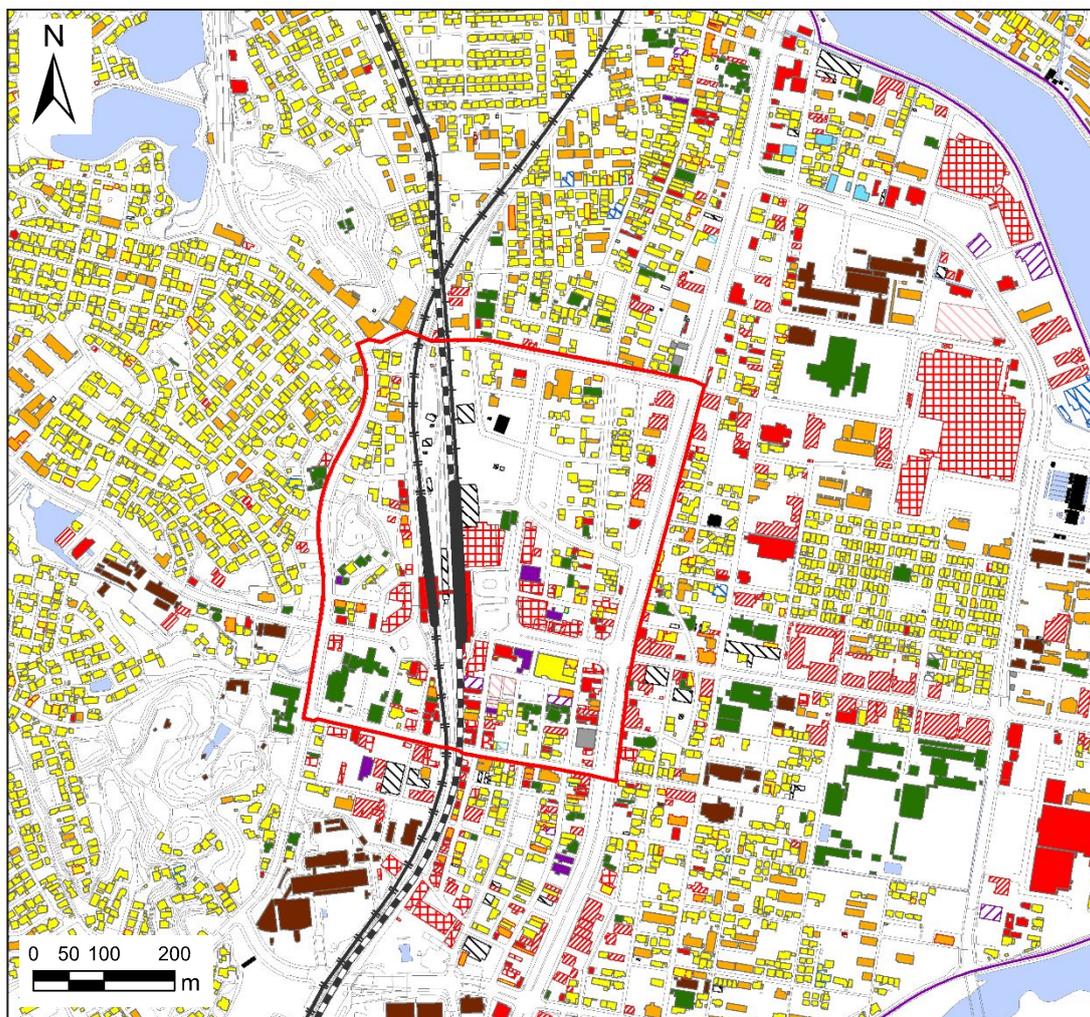
図 土地利用現況図



② 建物利用

対象範囲内に立地する建物は350棟あり、棟数ベースで住宅系の建物が52.3%、次いで商業系の建物が31.7%を占めています。

津駅東側では、事務所等の業務施設や小売店等の商業施設が多く立地しています。また、対象範囲外においては、津駅西側を中心に、戸建ての住宅が多く立地している状況です。



出典: 都市計画基礎調査(平成30年)

図 建物利用現況図



(3) 都市基盤整備の状況

① 都市計画道路・都市計画公園

対象範囲内の都市計画道路は8路線あり、対象範囲内に含まれる区間における整備率は100%となっています。

また、都市計画公園は、津偕楽公園と栄町公園の2か所となっています。



出典: 津市 都市計画図、都市計画のあらまし【令和6年度版】

図 都市計画道路、都市計画公園現況図

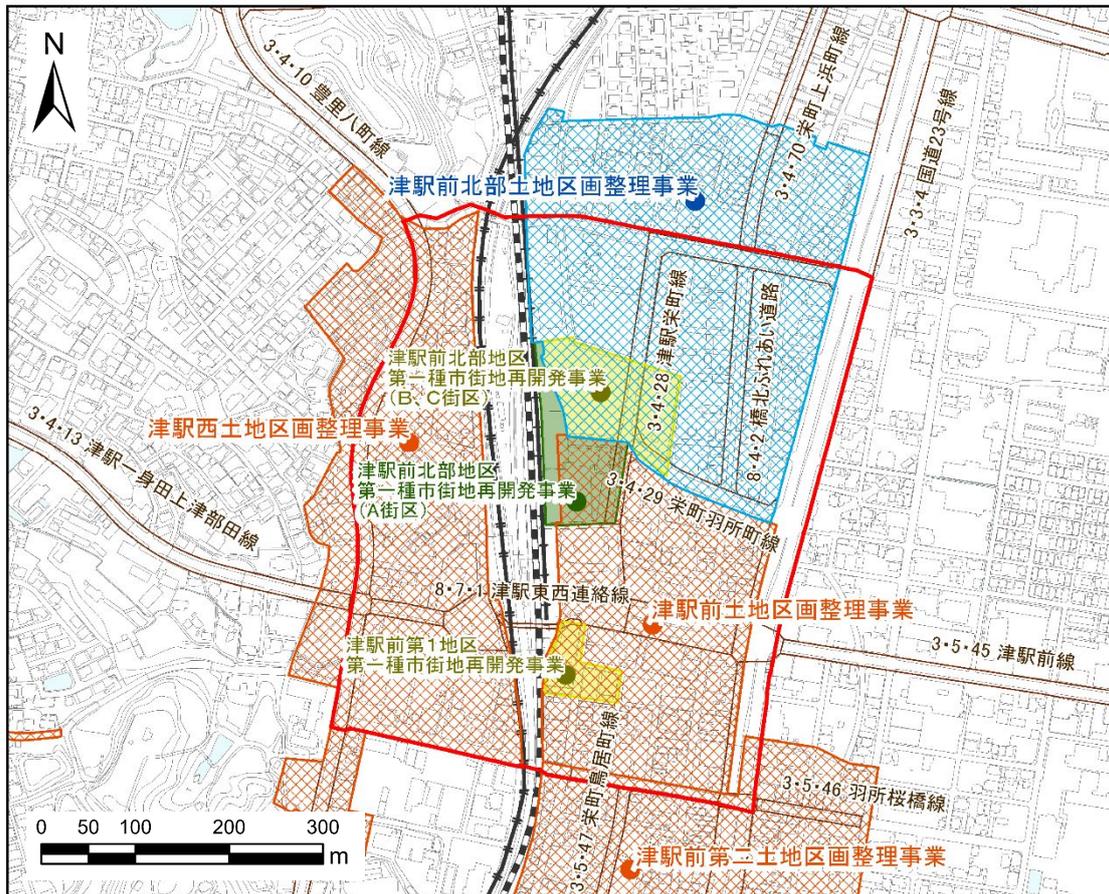
表 都市計画道路の整備状況(令和6年4月1日現在)

番号	路線名	計画延長 (m)	施行済延長 (m)	整備率 (%)
8-7-1	津駅東西連絡線	100	100	100.0%
3-4-13	津駅一身田上津部田線	1,850	1,850	100.0%
3-5-46	羽所桜橋線	320	320	100.0%
3-4-10	豊里八町線	8,610	8,310	96.5%
3-3-4	国道23号線	19,900	19,900	100.0%
8-4-2	橋北ふれあい道路	240	240	100.0%
3-4-28	津駅栄町線	500	500	100.0%
3-4-29	栄町羽所町線	170	170	100.0%

② 市街地再開発事業・土地区画整理事業

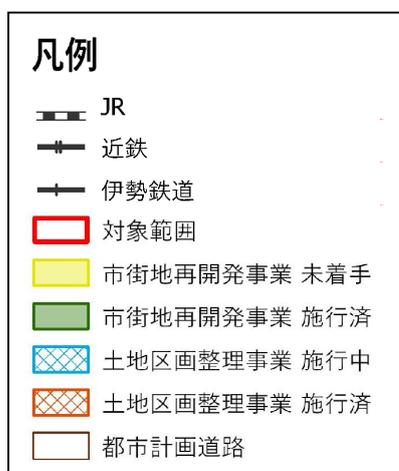
対象範囲内では、土地の高度利用を目的に、津駅前北部地区（約2.2ha）と津駅前第1地区（約0.5ha）において第一種市街地再開発事業が計画されています。

また、津駅前北部土地区画整理事業（約11.6ha）の施行により、都市計画道路4路線の整備と、これを支える区画道路を整備することで、都市防災の強化、交通の円滑化、宅地の利用増進が図られています。



出典：津市地図情報提供サービス

図 土地区画整理事業区域図

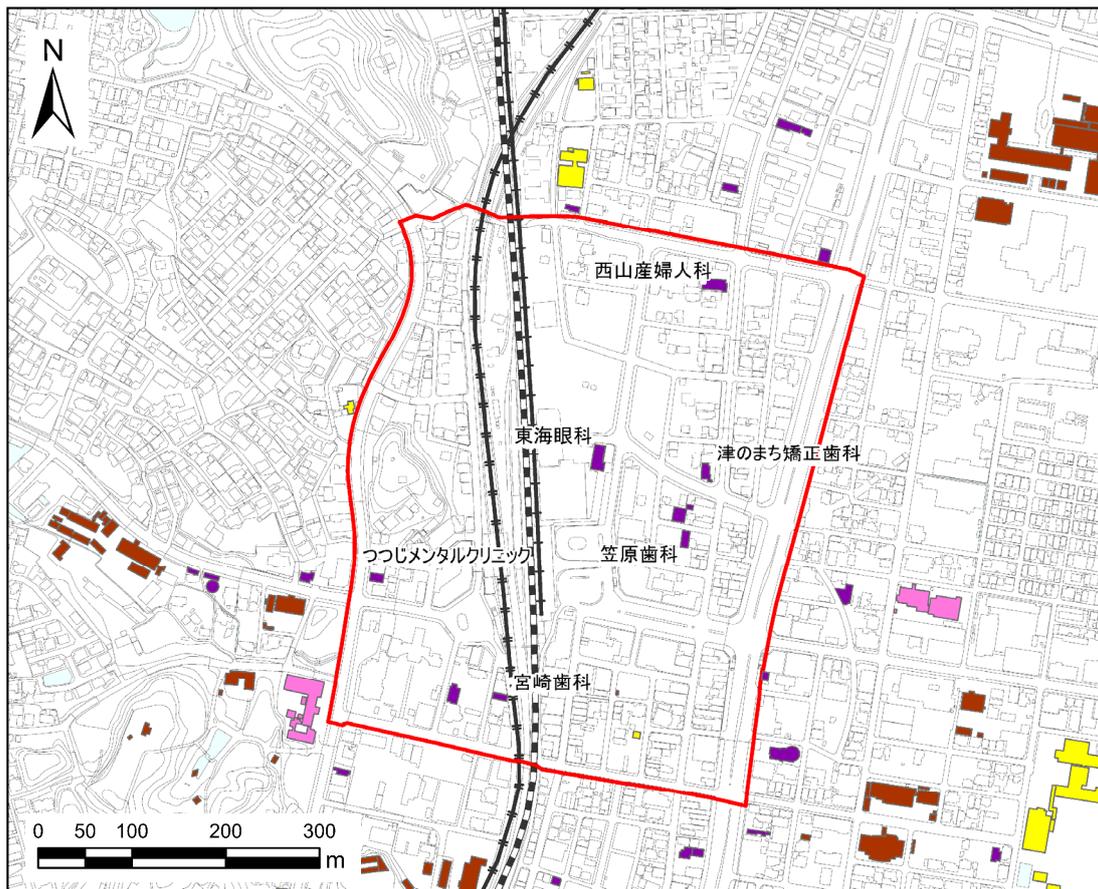


(4) 施設の立地状況

① 公共公益施設

対象範囲内では、駅周辺の複合施設内に官公庁施設や医療施設が立地しており、津駅の東側を中心に、眼科、歯科などの医療機関が多く立地しています。

対象範囲に近接する区域においては、三重県庁などの官公庁施設や、三重県総合博物館、三重県立美術館などの文化施設が立地しています。



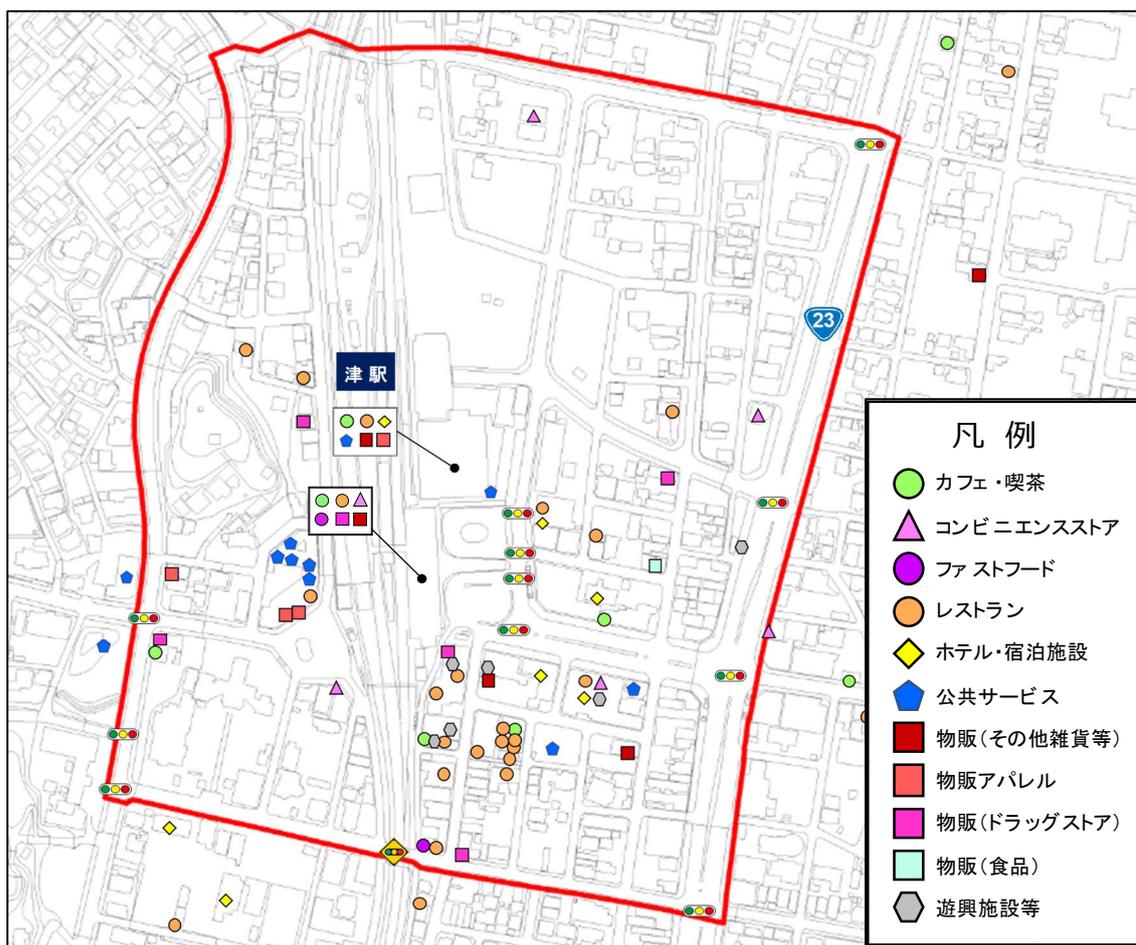
出典：都市計画基礎調査(平成 30 年)

図 公共公益施設配置図(平成 30 年都市計画基礎調査ベース)



② 商業施設

対象範囲内では、津駅の東側を中心に飲食店やホテルなどの施設が多く立地しており、特に津駅の南東側に集中している状況です。なお、大規模な商業施設は対象範囲内には立地しておりません。



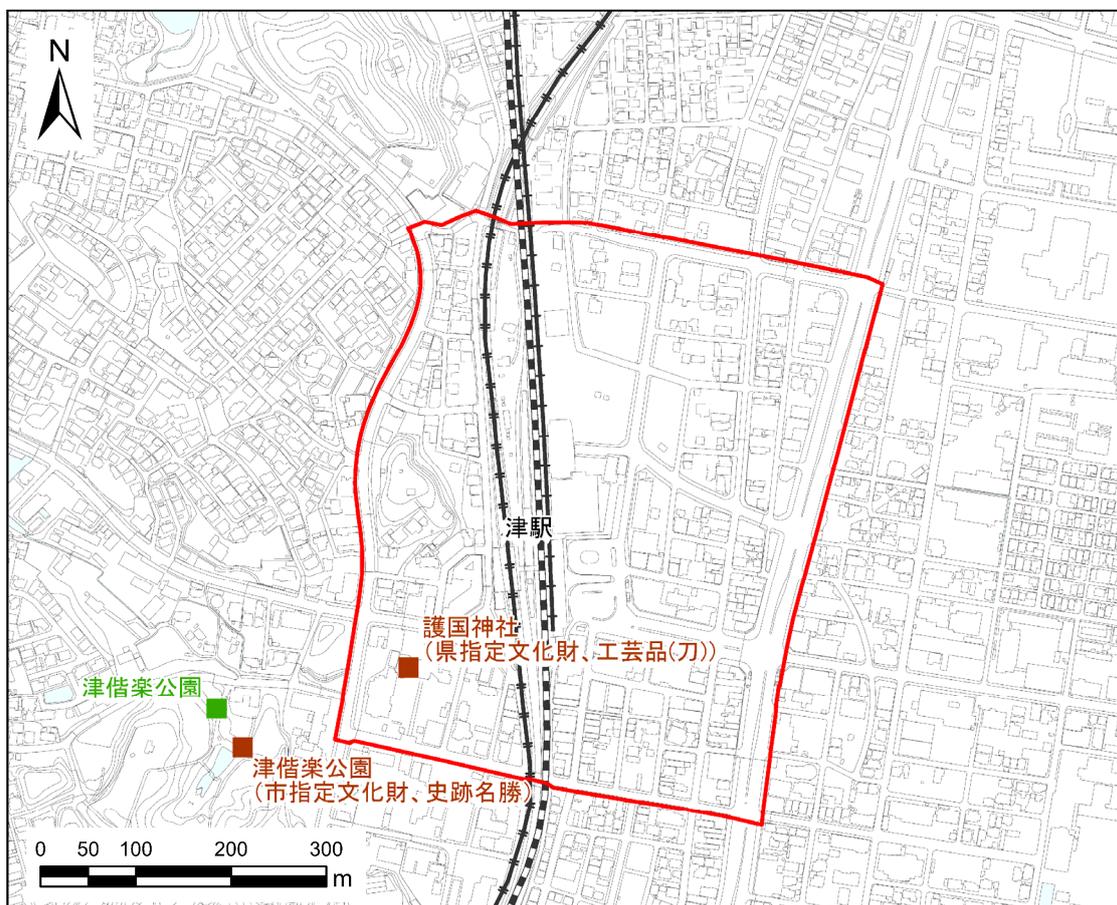
出典:津市資料

図 商業施設配置図(令和3年時点)

③ 観光資源・文化財

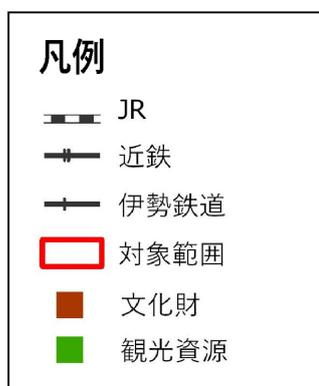
対象範囲内外にまたがる観光資源としては、藤堂高猷の山荘を公園にしたもので、桜の名所として知られる津偕楽公園や、護国神社などがあります。また、対象範囲の北部には、国宝である高田本山専修寺が立地しています。

津偕楽公園は市指定文化財の史跡名勝に指定されているほか、護国神社の工芸品(刀)は県指定文化財に指定されています。



出典:津市資料

図 観光資源・文化財配置図



(5) 防災に関する状況

① 津波及び高潮発生時の浸水想定

津駅東口は高潮発生時に最大で約2m、津波発生時に最大で約1mの浸水が想定され、浸水時は津駅の東西地域を結ぶ地下道が不通となる可能性が高くなります。

実際に、集中豪雨が発生した際には、津駅周辺での浸水の発生が確認されています。

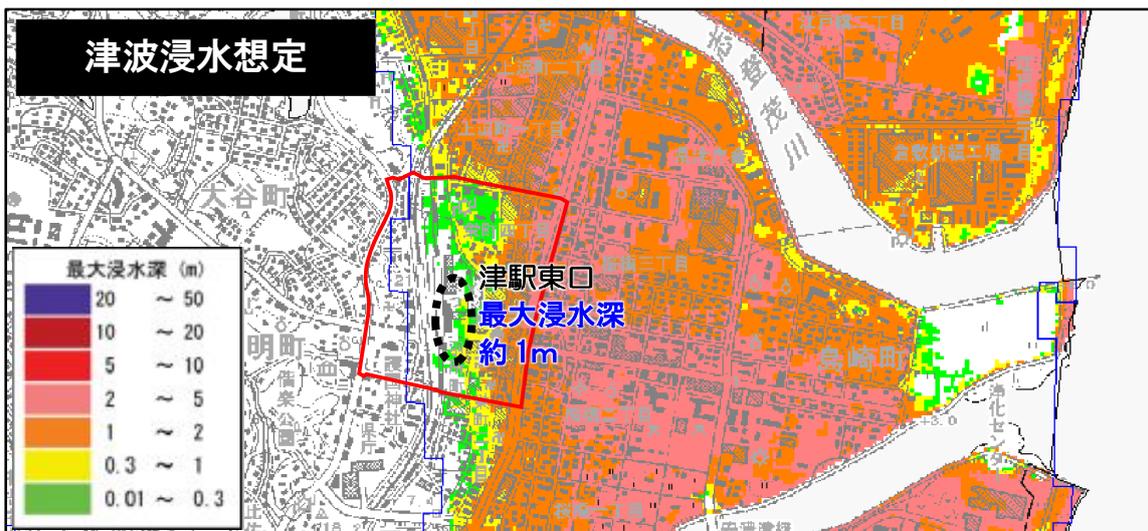


図 地下道への入口（東口）



出典: 高潮浸水想定区域図(三重県、令和5年3月指定)より作成
 ※高潮浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の高潮を想定

図 高潮浸水想定区域図



出典: 津波浸水予測図(三重県、平成26年3月公表)より作成
 ※津波浸水予測図は、理論上は起こり得る最大クラスの地震を想定

図 津波浸水予測図

② 避難場所の指定状況

津駅から1km 圏内において、指定避難所・一時避難場所に13箇所が指定されています。また、津波避難ビル・津波避難協力ビルに17箇所が指定されています。

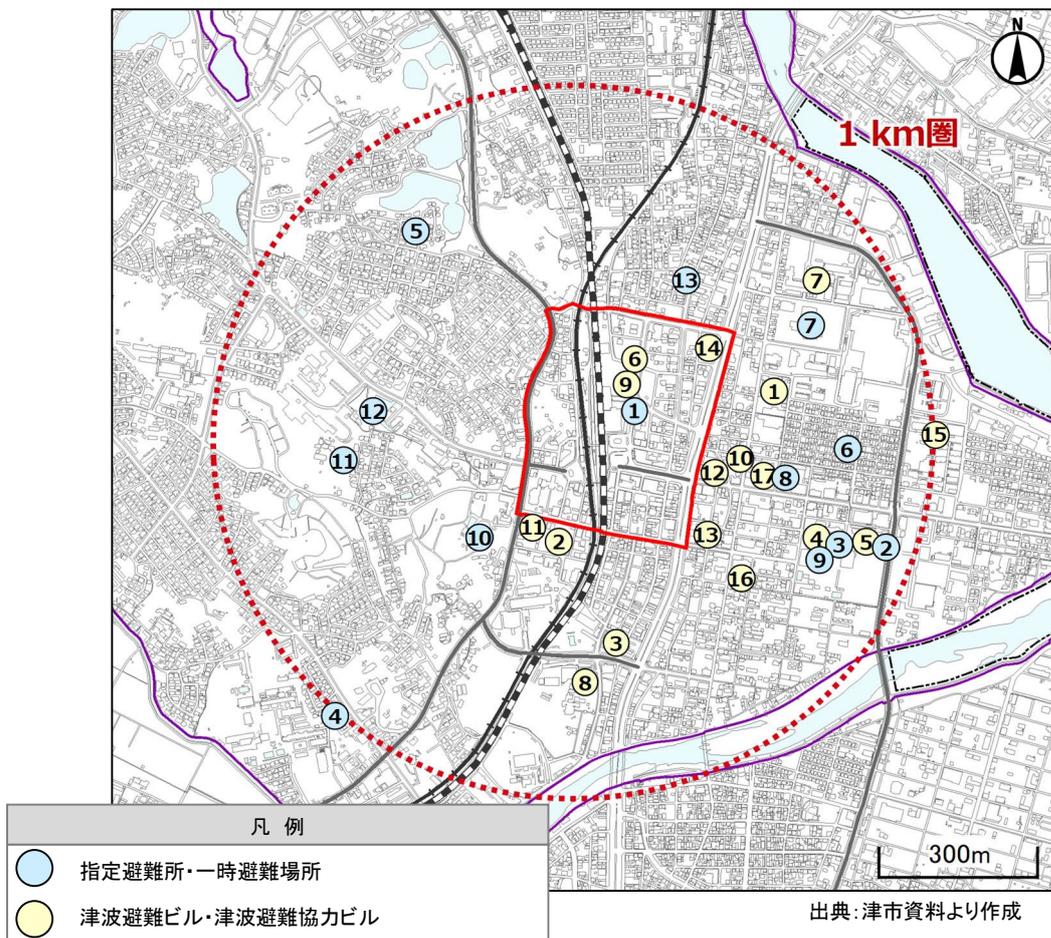


図 避難所等の指定状況(令和6年時点)

表 周辺の避難場所等の指定状況(1km 圏内)

指定避難所			津波避難ビル		
番号	施設名	収容人数	番号	施設名	収容人数
①	アストプラザ	920人	①	イセツビル	120人
②	橋北中学校	1,170人	②	ホテル ザ・グランコート津西	360人
③	南立誠小学校	930人	③	JAビル専用駐車場	3,600人
④	三重大学教育学部付属小学校	1,330人	④	南立誠小学校	2,230人
	計	4,350人	⑤	橋北中学校	3,570人
一時避難場所			⑥	アスト駐車場	11,265人
⑤	ひょうたん池公園	—	⑦	三重県津庁舎(本館)	225人
⑥	旭町公園	—	⑧	三重県労働者福祉会館	180人
⑦	創価学会三重文化会館	—	⑨	医療法人東海眼科	52人
⑧	三重県教育文化会館 (本館・駐車場)	—	⑩	フラワーロード栄	51人
⑨	南立誠小学校グラウンド	—	⑪	東横 INN 津駅西口	639人
⑩	津偕楽公園	—		計	22,292人
⑪	彰見寺(境内)	—	津波避難協力ビル		
⑫	三重県総合教育センター 駐車場	—	⑫	MOREビル(モアビル)	580人
⑬	上浜南公園	—	⑬	HOWAビル津	58人
	計	—	⑭	津栄町三交ビル	51人
			⑮	津第二地方合同庁舎	301人
			⑯	三重県自治会館	378人
			⑰	三重県教育文化会館	740人
				計	2,108人

2-2 津駅の利用状況・ニーズ

(1) 駅施設等の配置状況

① 駅施設の配置状況

鉄道は、近鉄名古屋線、JR 紀勢本線、伊勢鉄道が通っており、全路線の合計乗車人員は、令和5年時点で1日あたり19,428人となっています。

(近鉄名古屋線14,181人、JR 紀勢本線3,632人、伊勢鉄道1,615人)

バス乗降場は、津駅の東口・西口それぞれに整備されています。

公共の自転車等駐車場(駐輪場)は、東口に1箇所、西口に4箇所整備している状況です。

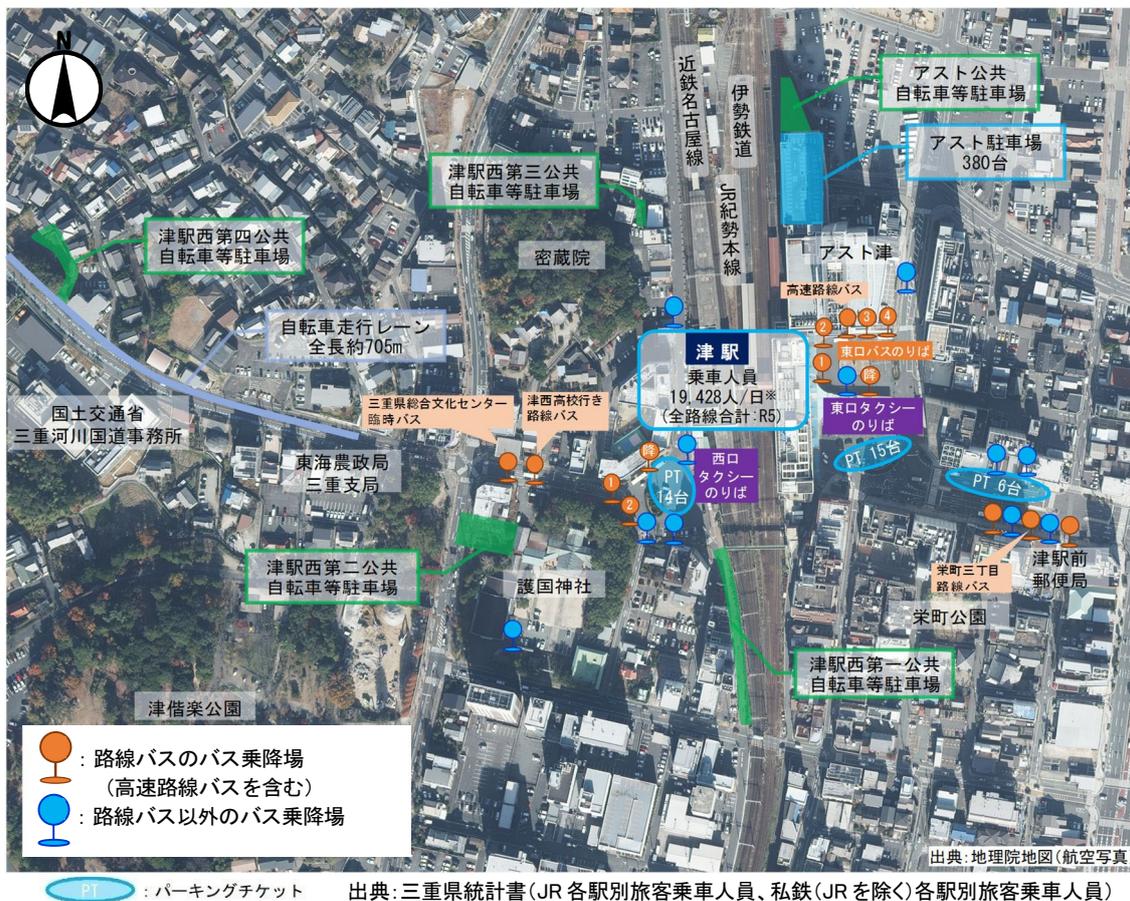


図 駅施設配置図

② 津駅の東西の移動手段

津駅の東口・西口間の移動にあたっては、鉄道定期利用者を除いて駅舎内を通行できない運用となっており、地下道（駅舎非接続）、歩道橋、駅北側及び駅南側の踏切道を利用して、迂回しながら通行する必要があります。

なお、歩道橋は、老朽化のため現在は通行止めとなっているほか、南側の公園前踏切は、歩車道分離がされておらず遮断時間も長い状況となっています。

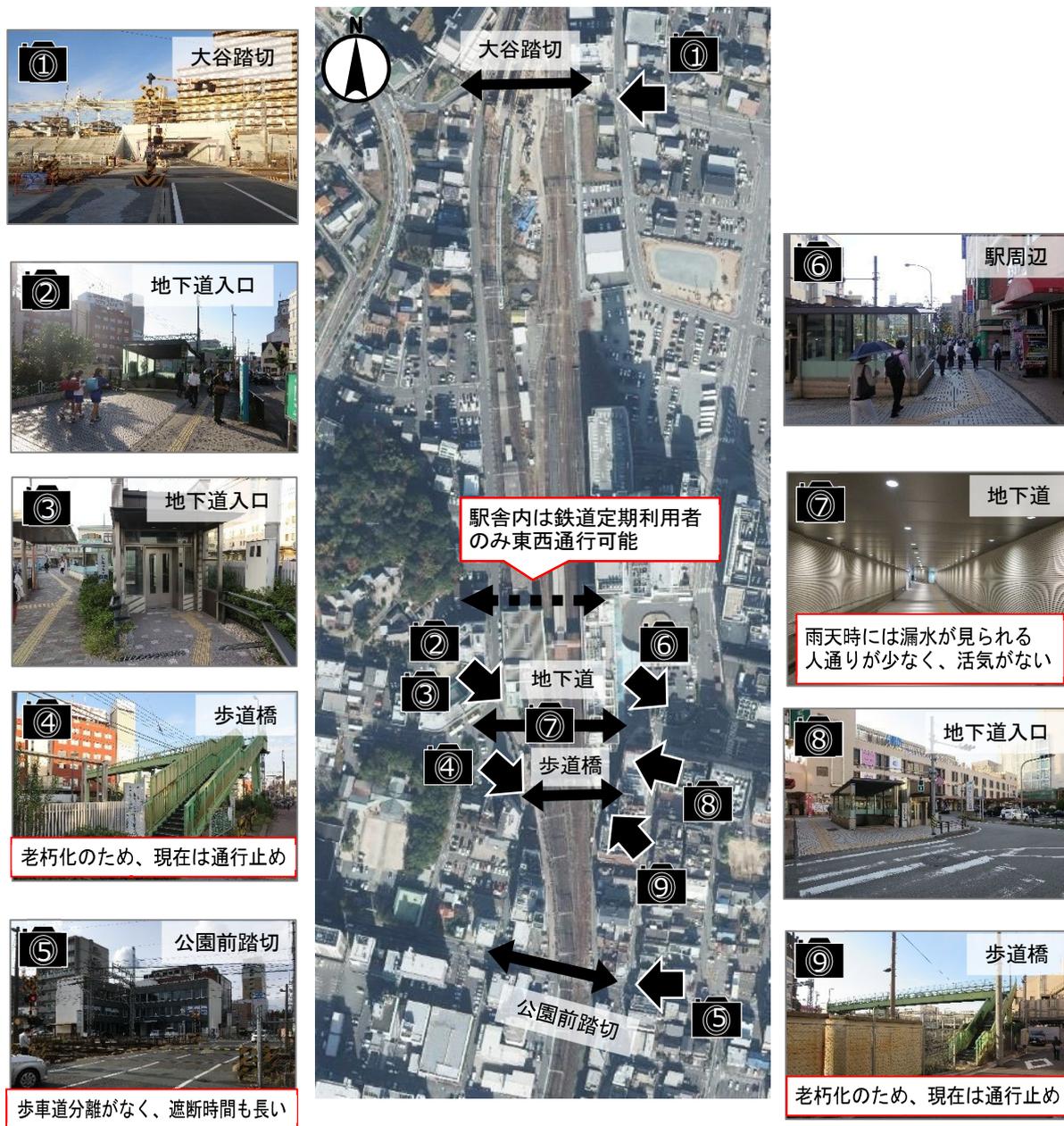


図 津駅の東西の移動手段状況図

③ 駅案内板の配置状況

現在の案内看板等は、津駅の東口・西口がそれぞれ独立した案内となっており、津駅の東口・西口間の連携を示した案内や、乗換に必要な交通モード間の接続のための案内看板も設置されていない状況です。

また、駅周辺の飲食店などの既存施設の案内看板や高速路線バス乗り場の案内が不足しているため、津市外からの来訪者には分かりにくい状況となっています。

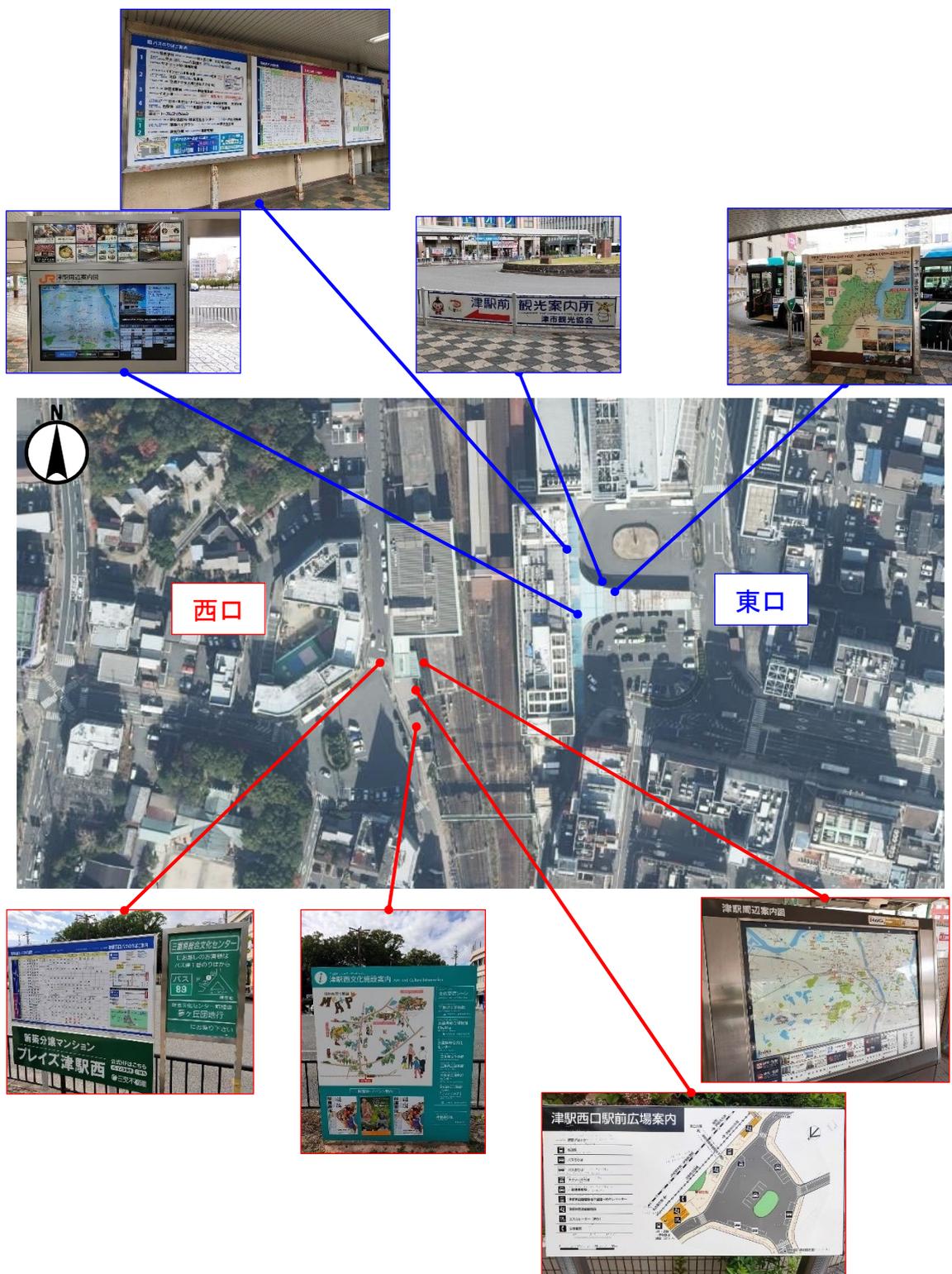


図 駅案内板配置図

④ 駅周辺の道路等の状況

津駅の駅前広場内は車道と歩道に段差があるマウントアップ構造となっており、津駅西口の駅舎に接続するエレベーター前の歩道の幅員も狭くなっているなど、バリアフリーに対応していない箇所があります。

周辺の道路状況について、津駅西口駅前広場西を通る主要地方道津関線は、駅北西方面の住宅地開発が進んだことや、国道23号中勢バイパス等の周辺幹線道路の整備に伴い道路利用者が増加したこと等により、県道津停車場・西線と交差する津駅西交差点周辺で車両の交通渋滞が発生しています。また、県道津停車場・西線上に津西高校行き路線バス乗り場があること、津駅南側の公園前踏切の遮断時間が長いことにより、これらの場所でも交通渋滞が発生しています。

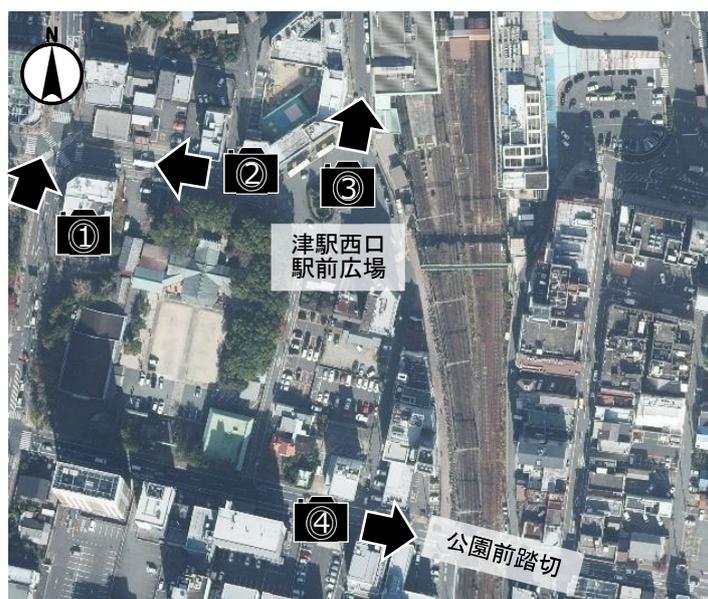


図 津駅周辺の道路等の状況

⑤ 自転車等駐車場の配置状況

公共自転車等駐車場（駐輪場）の配置状況は、東口に1箇所（アスト駐輪場）、西口に4箇所（津駅西公共第一～第四駐輪場）整備されているが、津駅周辺の駐輪場は、屋根やサイクルラックがない状況です。

津駅西口の出入口に近い津駅西第一駐輪場は収容台数を超える駐車率となっており、駐車枠からはみ出て駅前の景観を損ねているとともに、歩行者の安全な通行を妨げている状況です。その他の駐輪場の利用率は50%以下となっており、余裕がある状況です。津駅東のアスト駐輪場は屋内と屋外に駐輪場があり、駐車台数の大半が屋内に集中して駐車されています。

表 津駅周辺の駐輪場の利用状況(令和4年度調査の4回の平均値)

駐輪場名	収容台数 (台)	平均駐車台数 (台)	余裕台数 (台)	駐車率 (駐車台数/収容台数)
アスト駐輪場	930	468.8	461.2	50%
津駅西第一駐輪場	155	202.3	-47.3	131%
津駅西第二駐輪場	375	148.5	226.5	40%
津駅西第三駐輪場	100	42.0	58.0	42%
津駅西第四駐輪場	300	25.3	274.7	8%

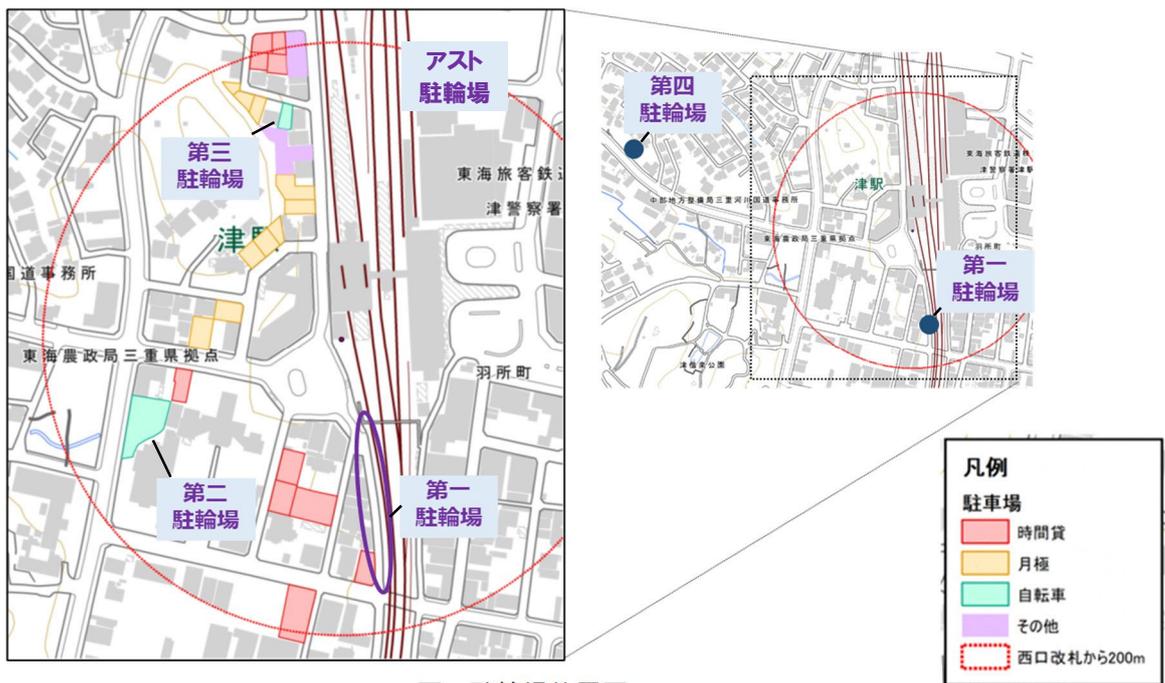


図 駐輪場位置図



駐車枠からはみ出て駐車され、歩行空間や景観を阻害



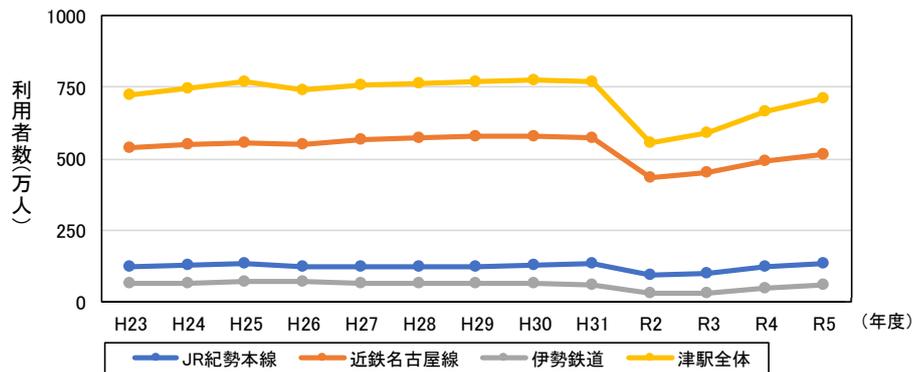
図 駐輪場の利用状況

(2) 公共交通機関等の利用状況

① 鉄道の利用状況

津駅の全路線の合計利用者数は、平成31年度までは、年間750万人程度を推移しており、路線別では、近鉄名古屋線が最も多く約550万人が利用しています。

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数が大幅に減少したものの、徐々に回復傾向が見られ、令和5年度の利用者数は約709万人となっています。

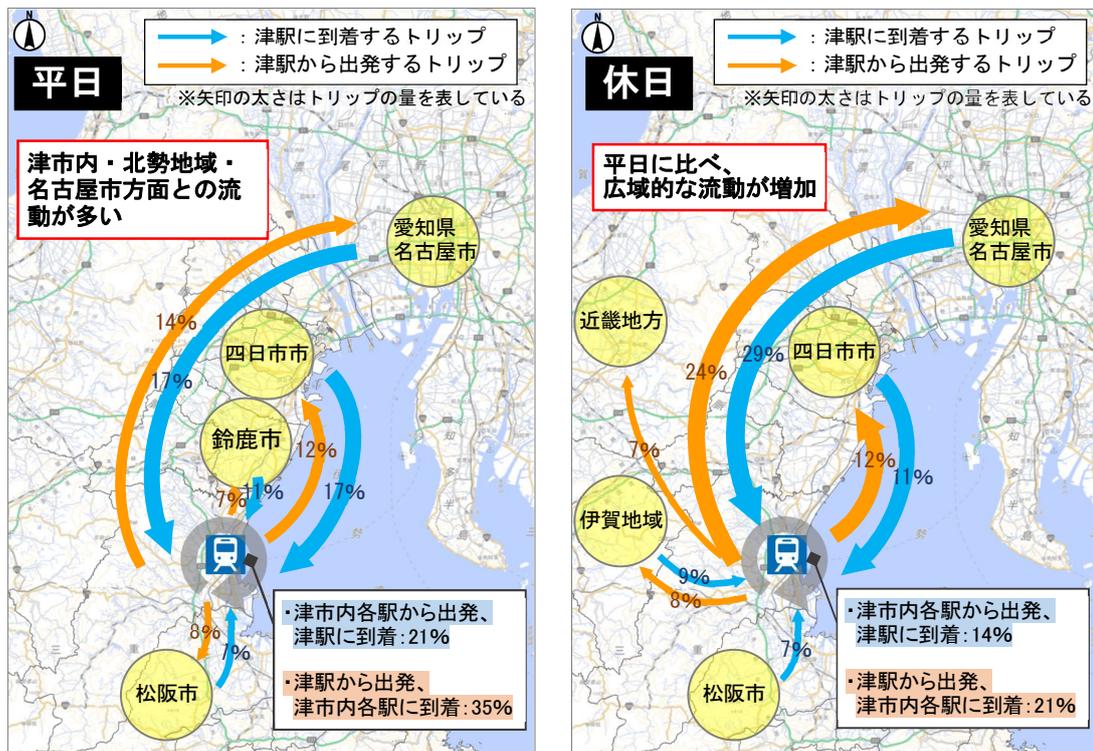


出典：三重県統計書(JR各駅別旅客乗車人員、私鉄(JRを除く)各駅別旅客乗車人員)

図 津駅における鉄道利用者数(年間)の推移

また、津駅利用者の発着地をみると、平日は津市内の各駅(津駅除く)との流動が多く、次いで愛知県名古屋市内の各駅、四日市市内の各駅との流動が多い状況となっています。

一方で、休日の津駅の利用者は、愛知県名古屋市内の各駅との流動が最も多く、平日に比べて広域的な流動が増加しています。



出典：携帯プローブデータ(ポイント型流動人口データ)(令和元年10月調査)

図 津駅利用者の発着地の状況図

② バスの利用状況

津駅の東口駅前広場・西口駅前広場を中心に、路線バスの乗降場（計 12 か所）が配置されています。

なお、高速路線バス、企業送迎及びスクールバスの乗降場（計 14か所）は、東西の停車場線沿道など、駅周辺に点在している状況です。

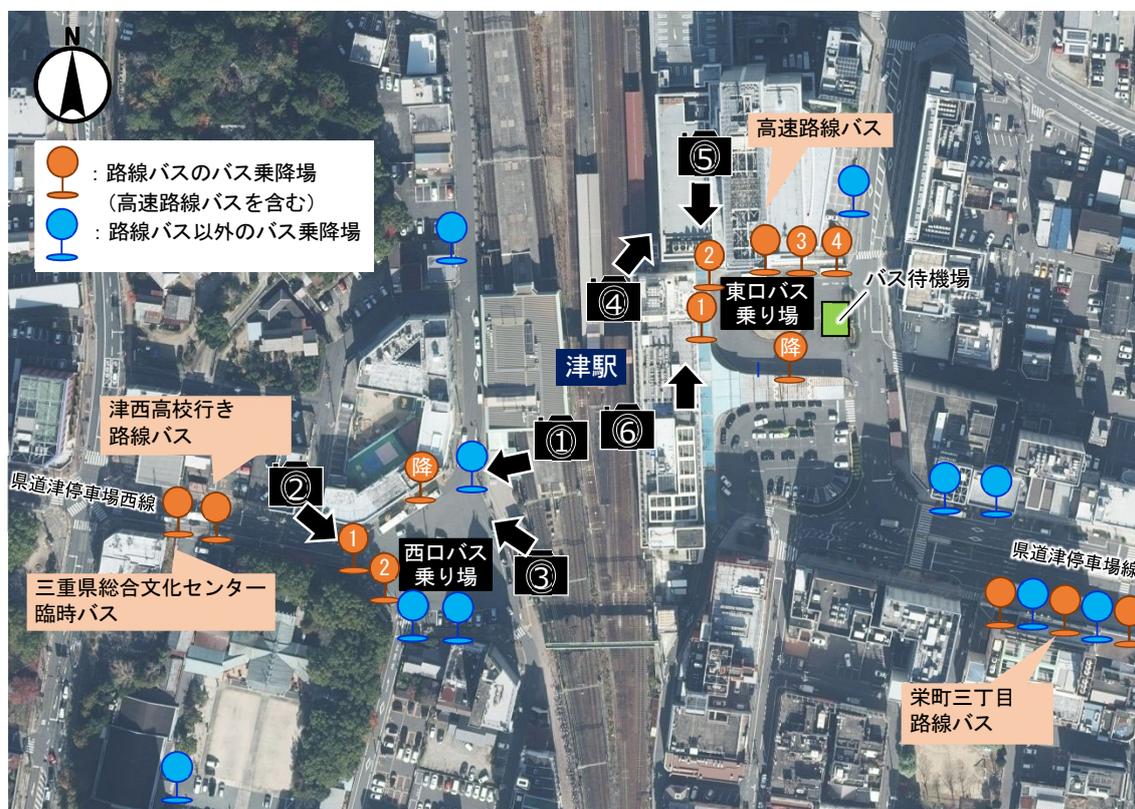


図 バス停位置図

※その他：高速路線バス津市役所前

〔西口バス乗り場の状況〕



① バスの降車と歩行者が錯綜



② 歩道の幅員が狭く、バス待ち行列が移動を阻害



③ 駅前広場内におけるバスの待機により、他の車の通行を阻害

〔東口バス乗り場の状況〕



④ バス待ち行列が、駅ビル側への動線を阻害



⑤ バス待ち行列が、バスから鉄道に乗り換える利用者の動線を阻害

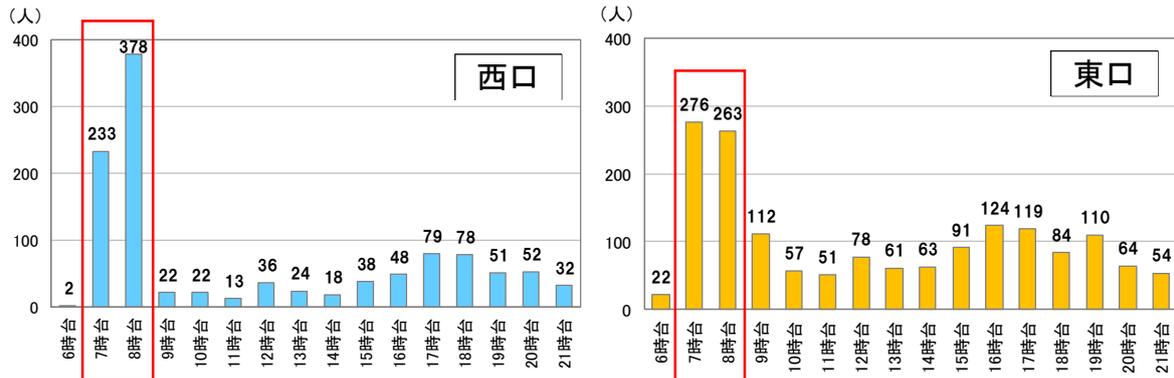


⑥ 駅改札出入口

図 バス乗り場の利用状況

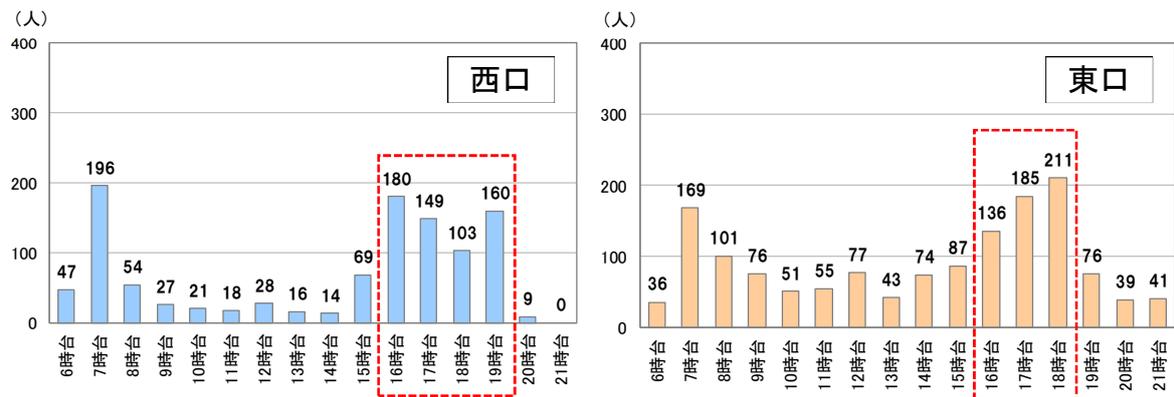
令和6年5月調査における、平日の1日当たりの乗降者数は、東口バス乗り場（津駅前）が約3,100人、西口バス乗り場（津駅西口）が約2,200人となっており、津駅全体で5,000人以上が路線バスを利用している状況です。また、路線バスの乗車人数は、東口・西口ともに7～8時台が多く、降車人数は16時台から増加する傾向にあります。

また、西口バス乗り場（津駅西口）においては、7～8時台に津西高校行き路線バスが運行しています。



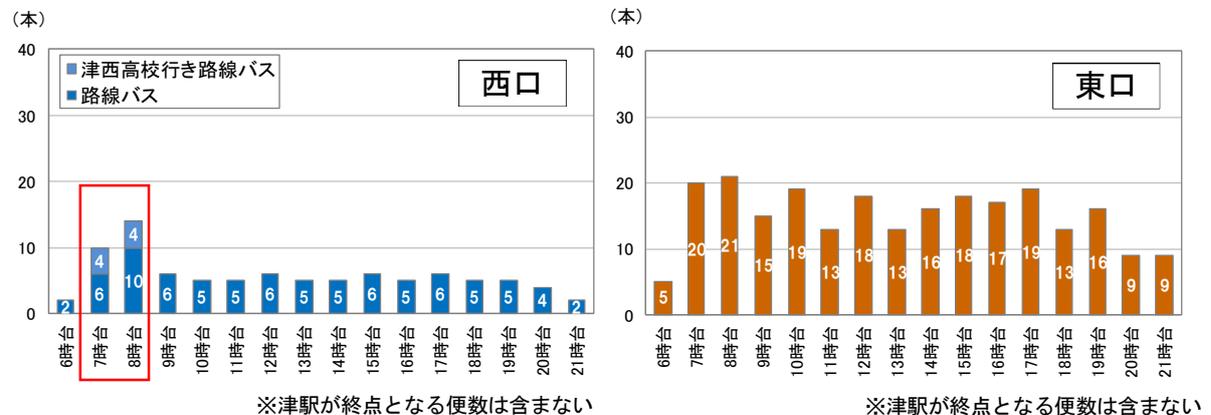
出典:乗降者数(令和6年5月調査) 三重交通(株)提供資料より作成

図 平日の時間別乗車人数



出典:乗降者数(令和6年5月調査) 三重交通(株)提供資料より作成

図 平日の時間別降車人数



※津駅が終点となる便数は含まない

※津駅が終点となる便数は含まない

出典:路線バス便数(令和6年10月現在) 三重交通(株)HPより作成

図 平日の時間別路線バス便数